

助け合いの心が日本社会を変える！ 市民社会と賀川豊彦の友愛精神

生協、労組、農協、労働金庫、共済保険……。

私たちの社会の一部となっているこれらの事業や運動に共通するもの、それは次の二点です。

- 一、助け合いのための組織であること(営利目的でない)
- 二、社会事業家賀川豊彦が開拓的に関わり推進したこと

資本主義のもたらす格差と貧困が今以上に深刻であった大正―昭和前期、賀川は、日本の相互扶助の伝統を社会的組織的に促進する

協同組合運動を精力的に展開しました。

賀川が始めた事業は大きく成長し、現在、生協の組合員2830万人、労組連合686万人、農協1027万人と、実に日本人の3分の1以上がこの助け合いの仕組みに加わっていることになります。

そして近年は、各団体の枠を越えて社会の必要に応える連携も各地で行われています。

グローバル資本主義による格差と分断が国内外で問題となり、その矛盾を乗り越える

次の社会が模索されています。賀川の友愛精神を共通の土台にもつ事業体が連携することは、

日本社会にどのような可能性を拓き、社会を変えていく力になるのでしょうか？

2016年10月29日〔土〕午後2時―午後4時30分

明治学院大学―白金キャンパス―二号館三〇一教室

東京都港区
白金台一―二三七

共催＝東京基督教大学 共立基督教研究所、明治学院大学キリスト教研究所 賀川豊彦研究プロジェクト、賀川豊彦記念松沢資料館 協賛＝キリスト新聞社
参加費＝無料 申込み＝研究プロジェクト専用サイトより、または共立基督教研究所までお申込みください。→ <http://www.tci.ac.jp/smj/?p=1313>

パネラー

逢見直人氏 〔日本労働組合総連合会事務局長〕

比嘉政浩氏 〔全国農業協同組合中央会専務理事〕

新井ちとせ氏 〔日本生活協同組合連合会 副会長・生活協同組合グループみらい理事長〕

篠田徹氏 〔早稲田大学社会科学総合学院教授〕

コーディネーター

稲垣久和 〔東京基督教大学大学院教授〕



震災後の日本における
宗教的ミニストリーの
理論と実践

Science for Ministry in Japan:
The Theory and Practice of
Christian Ministry in the Face of
Natural Disasters (2014-16)

問い合わせ

共立基督教研究所〔高橋〕
〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5
Tel || 0476-46-1137
Fax || 0476-46-1292
E-mail || ntaka@tci.ac.jp

本プロジェクトは米国の
John Templeton Foundationの
助成を受けて行われます。
本プロジェクトの成果として発表される
論文・記事等に表明される主張・見解は、
同財団の主張・見解を表すものではありません。

This project was made possible through
the support of a grant from the
John Templeton Foundation.
The opinions expressed in this project are
those of the members and do not
necessarily reflect the views of the
John Templeton Foundation.

四字熟語は
賀川豊彦による
協同組合の
7つの中心思想

人権超教育
資本格本権超教育
非搾取
力分散
党心